

費用負担の多い現状

映像や音声が格段に鮮明で、家庭とテレビ局との間で情報をやり取り双方方向サービスも可能——と現行のアナログ放送に比べ、これまでにない幅広い機能を持った「地上デジタルテレビ放送」。

国内ではBS（放送衛星）やCS（通信衛星）のデジタル放送が既に始まっていて、地上波もこれであろうと追い付いたといえます。しかし、地上デジタル化

が徐々に拡大されていると、受信可能な地域は限定され、山間部や高層ビル群など難視聴地域への対応が課題となっています。

デジタル化の定着にまず必要なのは、受信機やアンテナなど対応機器の値下がり。放送が始まり無理をしても、生活の質の向上に直結するとはいえません。ガソリンはなかなか値下

がりしない。収入も上がらない。何かと家庭の支出が増える中、「今のテレビでも十分なのに」「またお金がかかるの？」という声も聞かれます。

そんな中、普代村にも近い将来必ず訪れる「地上デジタルテレビ放送」の波。それに伴い平成23年7月24日に終了するアナログ放送。開始まで5年を切った今、デジタル化の利便性や質の向上とは裏腹に、受信機やアンテナなどの費用負担や難視聴対策と課題も多い現状です。

—VHSなどの今使っているビデオレコーダーなどは使えますか？

今までどおりビデオを見ることはできませんが、デジタル放送を録画することはできなくなります。DVDレコーダー、パソコンなどのアナログチューナーも使えなくなります。

—今のアンテナはそのまま使えますか？
UHFアンテナ（13〜52chに対応）であればそのまま使うことができます。

—地上デジタル放送対応のテレビはもう売ってるの？ 専用チューナーは？

地上デジタル放送対応のテレビは既に販売されています。20型だと10万円前後ですが、32型で25万程度、45型以上だと50万円を超えます。

専用チューナーは現在5万円以上します。買う人が増えてくると、5年後は2万円以下になると予想されます。

—地上デジタル放送は有料なのですか？

サービスが向上したから有料になってしまおうのでは？ と心配される方もいらっしゃると思いますが、ご安心ください。アナログ放送同様に、放送は無料です。

—車にテレビが付いていますが、今のままで映りますか？

残念ながら、家庭用と同じで専用のチューナーと専用アンテナが必要になります。価格は現在チューナーが7万円程度。専用アンテナは付属品を入れると4万円程度です。

■問い合わせ先：総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（☎0570-070101、ホームページ・<http://www.d-paorg>）

共同受信施設の関係者に聞く



普代商工会経営指導員
秦 豊吉さん(59)

現在のところ「地上デジタル放送」への切り替え時期は検討中

普代元村地区の約300世帯は現在役場の屋上にテレビアンテナ(アナログ放送用)を設置し、有線で皆さんのお宅へつないでいます。

5年後にアナログ放送が終了しますので、それまでに変換器などを付けなければなりません。現時点での工事費は200~300万円ぐらいかかります。

昨年7月26日、普代テレビ共同受信施設組合(馬渡順孝会長)の役員会の時、地上デジタルテレビ放送の内容や特徴、受信の基礎などの勉強会をしました。しかし、実際にはまだ分からないことが多く工事などの見通しがつかないのが現状です。切り替え工事の時期は現在のところ検討中です。